



本庄っこ



2025.1.17 本庄水辺の学園 松江市立本庄小学校
校長室だより No.9 発行者 杉谷洋美



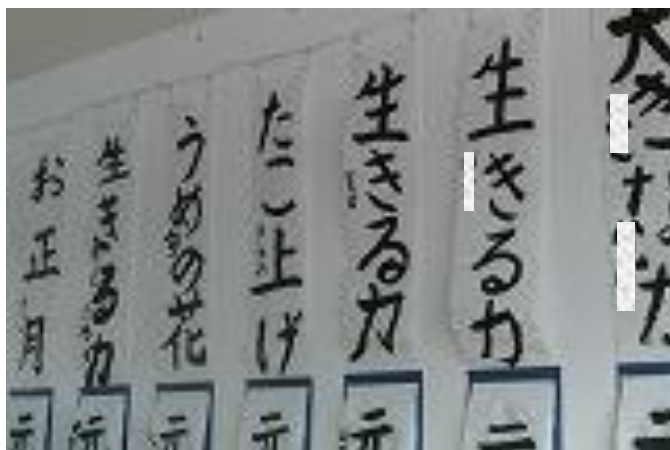
恭賀新年



2025年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、3学期が始まり10日ほど経ちました。2学期終わりは、インフルエンザが急激に広がりを見せ、2週間の間に全学年が学級閉鎖となってしまいましたが、今学期のスタートはいつも通り元気に過ごしている本庄っ子です。冬休み期間中に書いた書初めや新年の決意などが教室に飾られ、年の初めで意気揚々と過ごす子どもたちの様子に学校も活気づいています。

3学期は一年で最も短く50日(6年生は47日)しかありません。こうして数字で表すと短さをより感じます。いよいよ学年のまとめの時期です。捉え方により始まりでもあり終わりでもある3学期ですが、4月からの新学年につながっている大事な時であることにはまちがいありません。「新年の計は元旦にあり」の言葉を使い、計画(目標)を立て、よい結果や成果につながるように、そこまでの過程(日々の生活)を大事にしようと始業式で話をしました。



人権標語を掲示しています。

12月にご家庭でも協力いただき作成した人権標語ですが、各学級の廊下に掲示をしています。また、今週いっぱいのところでは本庄保育所の活動紹介、本庄中学校の人権標語作品も合わせて掲示を行いました。

作品を見ると、こどもたちが「人権」の中でも何を大切にしようと思っているのかがよくわかります。たくさん使われていたテーマは「あいさつ」「ことば遣い」「思いやり」です。あいさつについては、これまでも全校朝礼の中でたびたび取り上げてきました。また、地域の方からも登下校中のこどもたちのあいさつの様子についてよくお話を伺うことがあります。「あいさつは何のためにしているのか」と考えると、自ずと「どんなあいさつをするとよいのか」がわかります。「ことば遣い」もそうですが、相手がいる、相手の気持ちを思いやることで自分のあいさつの声や態度、話しかけることばが変わってきます。相手を思いやることのできる「思いやり」の心を言動で伝えられる本庄っ子でありたいと願っています。

＜人権標語作品から＞

「ともだちを うれしくさせる ことばかけ」(1年生)

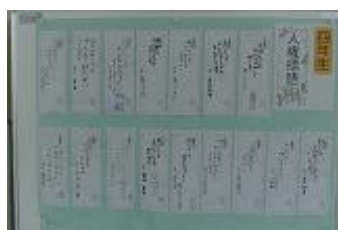
「やさしいことばづかって みんな なかよし」(2年生)

「友だちに「おはよう」「ありがとう」とどけよう」(3年生)

「うれしいな げんきになるよ ふわふわことば」(4年生)

「思いやり その心がけ 大事にね」(5年生)

「いじめなく やさしい言葉 かけあおう」(6年生)



☆今後の主な予定☆



1/21(火) 人権教育訪問(4年生)

1/24(金) 心の劇場(6年生)

2/13(木) 新入生保護者説明会

2/21(金) 授業公開日、学級懇談

2/28(金) 6年生を送る会

3/7(金) 新入生物品販売、学校体験

3/10(月) 新登校班開始

3/11(火) 保小合同登校練習

3/17(月) 給食最終(6年生)

3/18(火) 卒業証書授与式

3/21(金) 給食最終(1～5年)

3/24(月) 修了式・離任式